

道路運送車両法等の改正概要

平成18年5月19日 自動車交通における利便性及び安全性の向上を図ること等を目的として、道路運送車両法の一部を改正する法律（平成18年5月19日 法律第40号）が交付され、さらに同法の具体的な実施内容を措置した自動車点検基準の一部を改正する省令（平成19年3月14日 国土交通省令第11号）が公布され、平成19年4月1日から施行されることとなった。

これら改正の要点は次のとおりである。 **（J A S P A P 2 0 参照）**

1) 道路運送車両法の改正概要

- ・二輪の小型自動車について、初めて交付を受ける自動車検査証の有効期間を2年から3年に延長するとともに、定期点検の間隔が6か月ごとから1年ごとに延長された。

2) 自動車点検基準の改正概要

(1) 二輪車

点検時期及び点検内容の見直し並びに走行距離を加味した点検項目の設定が行われた。
(点検基準別表第7)

(2) 大型車

車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の車を対象に車輪脱落事故防止策として点検項目に「ホイール・ナット及びホイール・ボルトの損傷」が追加された

(3) 被牽引自動車

構造上の理由から（原動機がない等）、点検基準の別表が分離された。（点検基準別表第4）定期点検項目数は、3か月点検は20項目、12か月点検は33項目。

(4) 日常点検

車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の車を対象に、別表1（事業用自動車、自家用貨物自動車等）にタイヤ関係の点検項目として「ディスク・ホイールの取付状態が不良でないこと」の1項目が追加された。

【自動車の区分と別表の改正点】

自動車の区分	現行	改正後
事業用自動車等	別表第3	別表第3（変更なし）
被牽引自動車	—	<u>別表第4</u>
自家用貨物自動車等	別表第4	<u>別表第5</u>
自家用乗用自動車等	別表第6	別表第6（変更なし）
二輪自動車	別表第5	<u>別表第7</u>

3) 自動車の点検及び整備の関する手引きの改正

- ・自動車の「日常点検」及び「定期点検」の実施方法と、これらの点検に伴い必要となる整備の実施方法について見直しが行われた。

主な改正内容

- ①二輪自動車の定期点検の間隔の延長等に対応した見直し
 - ・ 6 か月点検を廃止し、1 年点検及び 2 年点検の点検項目を規定
 - ・ ブレーキ液量、エンジンのかかり具合の点検を削除
 - ・ マスタ・シリンダ等の液漏れ点検、ドライブ・ベルトの損傷点検等を追加
- ②実態に合わせた点検方法の見直し
 - ・ 点火プラグの状態（白金プラグ及びイリジウム・プラグは点検省略可）
- ③日常点検における大型車の車輪脱落事故防止策として、点検項目を追加
 - ・ ディスク・ホイールの取付状態が不良でないこと
- ④大型車（車両総重量 8 トン以上または乗車定員 30 人以上の車）に点検項目を追加
 - ・ ホイール・ナット及びホイール・ボルトの損傷
- ⑤車両火災事故防止対策として点検の実施方法を追加
 - ・ 燃料漏れ点検（配管を固定するクランプについてゴムの劣化等）

【既存の点検整備記録簿の使用について】

既存の点検整備記録簿については、二輪自動車の定期点検用を除いて次の方法により継続して使用することが可能です。

(1) 事業用自動車等 別表第 3

＜車両総重量 8 トン以上（被牽引車を含む）、乗車定員 30 人以上の自動車＞

- ・ 下記の項目をその他の点検項目欄（または余白）に追加することにより当分の間使用出来ます

① ホイール・ナット、ホイール・ボルトの損傷

＜被牽引自動車以外＞

- ・ 下記の項目を削除してください

① 連結装置の「キング・ピンの亀裂、損傷」

② 「ピントル・フック、ルネット・アイの損傷」の項目で「ルネット・アイ」の部分

- ・ 被牽引自動車は別表 4 として新設されましたが、従来どおり装置がついていないものは「／」の該当なしを記入して使用できます。

(2) 自家用貨物自動車等 別表第 4

- ・ 当分の間使用できます。（ただし、可能な限り右上の「別表 4」の表示を「別表 5」に改めて下さい。）

(3) 二輪自動車 別表第 5

＜持込用及び指定整備記録簿＞

- ・ 下記の項目をその他の点検項目欄（または余白）に追加することにより当分の間使用出来ます

- ① マスタ・シリンダの液漏れ
- ② ディスク・キャリパの液漏れ
- ③ ブーツの亀裂・損傷
- ④ ドライブ・ベルトの摩耗、損傷

＜定期点検用記録簿＞

- ・ 点検時期・項目が大幅に変更されることから、新様式を使用してください。

(3) 自家用乗用自動車等 別表 6 （含：軽自動車）

- ・ 訂正なしで使用できます。

※自動車車検証有効期間及び定期点検の間隔に関する整理表を参照して下さい。

自動車検査証の有効期間及び定期点検の間隔に関する整理表

対象車種	点検区分等	定期点検の間隔					検査証の有効期間		備考(主な車種等)
		3 ヵ月 (別表 3)	3 ヵ月 (別表 4)	6 ヵ月 (別表 5)	1 年 (別表 6)	1 年 (別表 7)	初 回	2 回 目 以 降	
運送事業用	旅客	普通・小型	○				1年	←	バス、タクシー、ハイヤー
		軽	○				2年	←	福祉タクシー
	貨物	GVW8トン以上	○				1年	←	貨物運送事業者のトラック(三輪)
		GVW8トン以上トレーラ		○			1年	←	
		GVW8トン未満	○				2年	1年	
		GVW8トン未満トレーラ		○			2年	1年	
		軽			●		2年	←	
		二輪				●	3年	2年	
	霊柩	通常タイプ	○				2年	←	霊柩
		定員11名以上	○				1年	←	霊柩車バス形状
レンタカー	貨物	GVW8トン以上	○				1年	←	トラック(三輪を含む)
		GVW8トン以上トレーラ		○			1年	←	
		GVW8トン未満	○				2年	1年	
		GVW8トン未満トレーラ		○			2年	1年	
		軽			○		2年	←	
		定員11名以上	○				1年	←	マイクロバス
	乗用	幼児専用車	○				1年	←	園児送迎車
		普通・小型			○		2年	1年	マイカー型
	二輪	軽			○		2年	←	
		三輪	○				2年	1年	
	特種	小型			○		2年	1年	250ccを超えるバイク(三輪バイクを含む)
		検査対象外軽自動車			○		無	←	
		普通・小型	○				2年	1年	キャンピング車
		GVW8トン以上	○				1年	←	
		GVW8トン以上トレーラ		○			1年	←	タンク車、冷蔵冷凍車
		GVW8トン未満	○				2年	1年	
自家用自動車	貨物	GVW8トン未満トレーラ		○			2年	1年	
		軽			○		2年	←	
		GVW8トン以上	○				2年	1年	ホイール・クレーン
		GVW8トン未満	○				2年	1年	
	大特	GVW8トン以上	○				1年	←	フォーク・リフト
		GVW8トン以上トレーラ		○			1年	←	
		GVW8トン未満	○				2年	1年	ストラドル・キャリア、ポール・トレーラ
		GVW8トン未満トレーラ		○			2年	1年	
	検査対象外軽自動車	○					無	←	そり付き、カタピラ付軽自動車
		GVW8トン以上	○				1年	←	
		GVW8トン以上トレーラ		○			1年	←	トラック(三輪を含む)
		GVW8トン未満			○		2年	1年	
		GVW8トン未満トレーラ			○		2年	1年	
		軽			●		2年	←	
	乗用	定員11名以上	○				1年	←	マイクロバス
		幼児専用車			○		1年	←	園児送迎車
		普通・小型			●		3年	2年	一般の乗用車(マイカー)
		軽			●		3年	2年	
	二輪	三輪			○		2年	←	
		小型				●	3年	2年	250ccを超えるバイク(三輪バイクを含む)
自家用自動車	検査対象外軽自動車	○				●	無	←	125cc以上250cc以下のバイク(三輪バイクを含む)
		普通・小型	○8t以上		○8t未満		2年	←	キャンピング車、教習車(乗用)、消防車
		GVW8トン以上	○				1年	←	
	貨物	GVW8トン以上トレーラ		○			1年	←	タンク車、散水車、現金輸送車、ボート・トレーラ、コンクリートミキサー車、冷蔵冷凍車、活魚運搬車、給水車
		GVW8トン未満			○		2年	1年	
		GVW8トン未満トレーラ			○		2年	1年	
		軽			●		2年	←	
	大特	GVW8トン以上	○				2年	←	ホイール・クレーン
		GVW8トン未満			○		2年	←	
		GVW8トン以上	○				1年	←	ストラドル・キャリア、ポール・トレーラ
		GVW8トン以上トレーラ		○			1年	←	
		GVW8トン未満			○		2年	1年	
		GVW8トン未満トレーラ			○		2年	1年	
	検査対象外軽自動車	○			○		無	←	そり付き、カタピラ付軽自動車

(注) 1. 点検整備記録簿の保存期間は ●印:2年 ○:1年
2. GVW:車両総重量

指定自動車整備事業の指定に係る基準（工員数要件）の

緩和等のお知らせ

国土交通省は、「指定自動車整備事業の指定に関する基準（工員数要件）の緩和をする改正を行いました。

この通達改正により、指定に係る基準のうち工員数要件について「５人以上」から「４人以上」へと緩和（下記※参照）されるとともに、可搬式の機器である音量計及び黒煙測定器を用いて行う検査についても、現車作業場で実施することが可能となります。

（平成１９年４月１日施行）

※ 但し、車両総重量８トン以上、最大積載量５トン以上又は乗車定員３０人以上の車両を取り扱う工場を除く（現在大型車を対象自動車としている指定工場が、工員数を４人に減らしたい場合は、大型自動車を対象自動車から除く変更申請を行う必要があります。）。

なお、大型特殊の中で総重量８トン以上／積載量５トン以上を指定整備する場合は、５人以上の工員数要件を満たさなければならない。

下記通達は、AMSホームページ会員専用ページをご覧ください。

国自整第１６６号の２（平成１９年３月２８日）自動車交通局長通達【別紙１】

国自整第１６８号の２（平成１９年３月２８日）整備課長通達【別紙２】

点検基準等の改正に伴う大型車の「自動車整備標準作業点数表」

（定期点検作業点数）について

「自動車点検基準」及び「自動車の点検及び整備に関する手引き」が改正され、４月１日から定期点検項目及び点検方法が変更されます。

本改正に伴い、日整連において「自動車整備標準作業点数表」（定期点検作業点数）の改正作業を進めておりますが、自動車点検基準の改正省令等の公布が大幅に遅れたため、新点検基準に基づいた「自動車整備標準作業点数表」【定期点検編】（貨物車のみ掲載）の発行が遅れており、６月中旬ころを予定しています。

このことから、４月１日以降に大型車（車両総重量８トン以上、乗車定員３０名以上）の定期点検を行う際の作業時間の目安として、現行の定期点検作業点数表に対する加算点数【案】別紙１を参考にご活用下さい。

なお、改正後の作業点数につきましては、加算点数【案】は変更が予想されますので、あらかじめご承知おき下さい。

また、FAINESに「自動車整備標準作業点数表」を掲載しておりますが、新点検基準に基づいた定期点検作業点数への変更は６月中旬を予定しております。それまでの間、点数表のトップ画面に『FAINESからの重要なお知らせ』を表示し対応致します。

加算点数【案】(大型車:車両総重量8トン以上又は乗車定員30名以上の自動車)

別紙1

(注意)・下記加算点数【案】はあくまでも案ですので、正式な作業点数については点数表完成時にご確認下さい。
・下表の5～7トン、8～15トンは最大積載量を示す。

		5～7トン	8～15トン			トラクター (8～15トンベース)	3軸後2軸	中型バス	大型バス		
			3軸前2軸	3軸後2軸	4軸				2軸	3軸	
3 カ 月 点 検	加 算 点 数 〔 案 〕	0.2～0.4	0.2～0.4	0.3～0.5	0.5～0.8	0.6～0.9	0.2～0.4	0.5～0.8	0.2～0.4	0.2～0.4	0.3～0.5

※ 加算点数【案】は、ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩みの点検方法変更による作業の増加分を示す。

		5～7トン	8～15トン			トラクター (8～15トンベース)	3軸後2軸	中型バス	大型バス		
			3軸前2軸	3軸後2軸	4軸				2軸	3軸	
1 2 カ 月 点 検	加 算 点 数 【 案 】	1.1～1.4	1.4～1.6	2.0～2.2	2.5～2.8	3.0～3.3	1.4～1.6	2.5～2.8	1.1～1.4	1.4～1.6	2.0～2.2

※ 加算点数【案】は、ホイール・ナット及びホイール・ボルトの損傷(大型車において行う点検)が追加されたことによる作業の増加分を示す。

「定期点検整備実施車に対する自動車保険の優遇策について」の 要望に対する回答について

自動車整備振興会関東ブロック連絡協議会日整連に提出していた「定期点検整備実施車に対する自動車保険の優遇策について」の要望を日整連と社団法人日本損害保険協会等と改めて協議しましたが、状況に全く変化はないということで、残念ながら要望に副えない事になりました。

理由

- ① 定期点検整備実施車両と非実施車両の事故率のデータの収集が困難である。
- ② 法で定められていることを実施しない者にペナルティーを課することが一般常識であり、法を遵守した者に保険料を割引くなど優遇することは説得性に欠ける。
- ③ 事故原因が整備不良によるものか否かの判断が困難である。
- ④ 整備不良と定期点検整備未実施の因果関係が明確にできない。

平成19年春の全国交通安全運動において横断幕を設置します

平成19年5月11日（木）から5月20日（日）までの10日間にわたり、「春の全国交通安全運動」が実施されます。

つきましては、各事業所におかれましても本運動の主旨にご理解いただき、交通事故防止の徹底を図られますようご協力お願いいたします。

当会においても「春の全国交通安全運動」に協力し5月11日から1ヶ月間、山梨県下約50ヶ所に横断幕を設置予定です。設置場所については、管轄支所・市役所等に申請中につき、5月号にて報告致します。『交通安全』にご協力をお願い致します。

横断幕



取付方法：ロープ（6～7mm）又は針金（3mm）にて固定

設置期間中横断幕の破れやヒモ等が外れているのを見かけましたら、振興会までご連絡下さい。
振興会 指導課 TEL055-262-4422

（JASPA P7参照）

平成19年 春の全国交通安全運動山梨県実施要領（抜粋）

第1 目的

この運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通安全防止の徹底を図ることを目的とする。

第2 期間

平成19年5月11日（金）～5月20日（日）までの10日間

第3 主唱

山梨県交通安全対策本部・山梨県交通対策推進協議会

第5 運動のスローガン

運転は 人に社会に 思いやり

第6 運動の基本・重点

春の全国交通安全運動では新入学児童等に対する交通ルールの理解と交通マナーの習慣付けが重要課題となるとともに、本格的な高齢社会への移行に的確に対処するため、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本とするほか、次の重点を定める。

1. 運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止（全国基本）

2. 運動の重点

（1）飲酒運転の根絶（全国重点）

（2）自転車の安全利用の推進（全国重点）

（3）後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底（全国重点）

自動車リサイクル法に基づく「引取業者・フロン類回収業者の登録更新」に係る手続きについて

使用済自動車の引取業者・フロン回収業者の登録は5年間となっておりますが、フロン回収破壊法で登録を行った事業者につきましては、最も早いケースで、来る4月1日に登録の満了日を迎えます。

引き続き引取業者等に登録するためには、下記管轄自治体へ更新申請をする必要があり、更新しない場合は、自動車リサイクルシステムも使用できなくなります。

必ず、変更申請を下記申請窓口において行って下さい。

※ 更新申請用紙は、山梨県庁ホームページからダウンロードできます。もしくは、振興会指導・教育部門窓口にあります。

山梨県庁ホームページ

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kankyo-sb/08786339986.html>

申請受付窓口

林務環境事務所	住所・電話番号	管轄する地域
中北林務環境事務所	〒407-0024 韮崎市本町四丁目2-4 北巨摩合同庁舎4階 0551-23-3090	甲府市、韮崎市、南アルプス市、 北杜市、甲斐市、中央市及び昭和町
峡東林務環境事務所	〒404-8601 甲州市塩山上塩後1239-1 東山梨合同庁舎3階 0553-20-2739	山梨市、笛吹市及び甲州市
峡南林務環境事務所	〒409-3606 市川三郷町高田111-1 西八代合同庁舎2階 055-240-4141	市川三郷町、増穂町、鵜沢町、 早川町、身延町及び南部町
富士・東部 林務環境事務所	〒402-0054 都留市田原三丁目3-3 南都留合同庁舎2階 0554-45-7811	富士吉田市、都留市、大月市、 上野原市、道志村、西桂町、忍 野村、山中湖村、鳴沢村、富士 河口湖町、小菅村及び丹波山村

自動車リサイクルセンターへのフロン回収業者の年次報告について

自動車リサイクルセンターにフロン回収業者に登録している工場は、インターネットでフロン類年次報告を必ず行って下さい。

https://joho.jars.or.jp - 情報管理センターシステム - Microsoft Internet Explorer

2.1	<input type="button" value="確認通知の閲覧"/>	解体業者への使用済自動車引渡報告の未実施状況 確認通知はありません。
2.2	<input type="button" value="確認通知の閲覧"/>	引渡先（解体業者）での使用済自動車引取報告の未実施状況 確認通知はありません。
2.3	<input type="button" value="確認通知の閲覧"/>	引渡先（メーカー指定引取場所）のフロン類引取報告（メーカー直送）の未実施状況 確認通知はありません。
2.4	<input type="button" value="確認通知の閲覧"/>	引渡先（メーカー指定引取場所）のフロン類引取報告（発送拠点経由）の未実施状況 確認通知はありません。

<<貴社のフロン類移動報告実施状況のお知らせ>>

2007年度の移動報告実施状況は、0%です。また、都度入力の実施状況は、0%です。

フロン類については、メーカー等への引渡報告、または、再利用連絡を忘れずにお願いします。

3. フロン類年次報告

3.1	<input type="button" value="フロン類年次報告"/>	フロン類年次報告 フロン類年次報告を忘れずに報告してください。
-----	---	------------------------------------

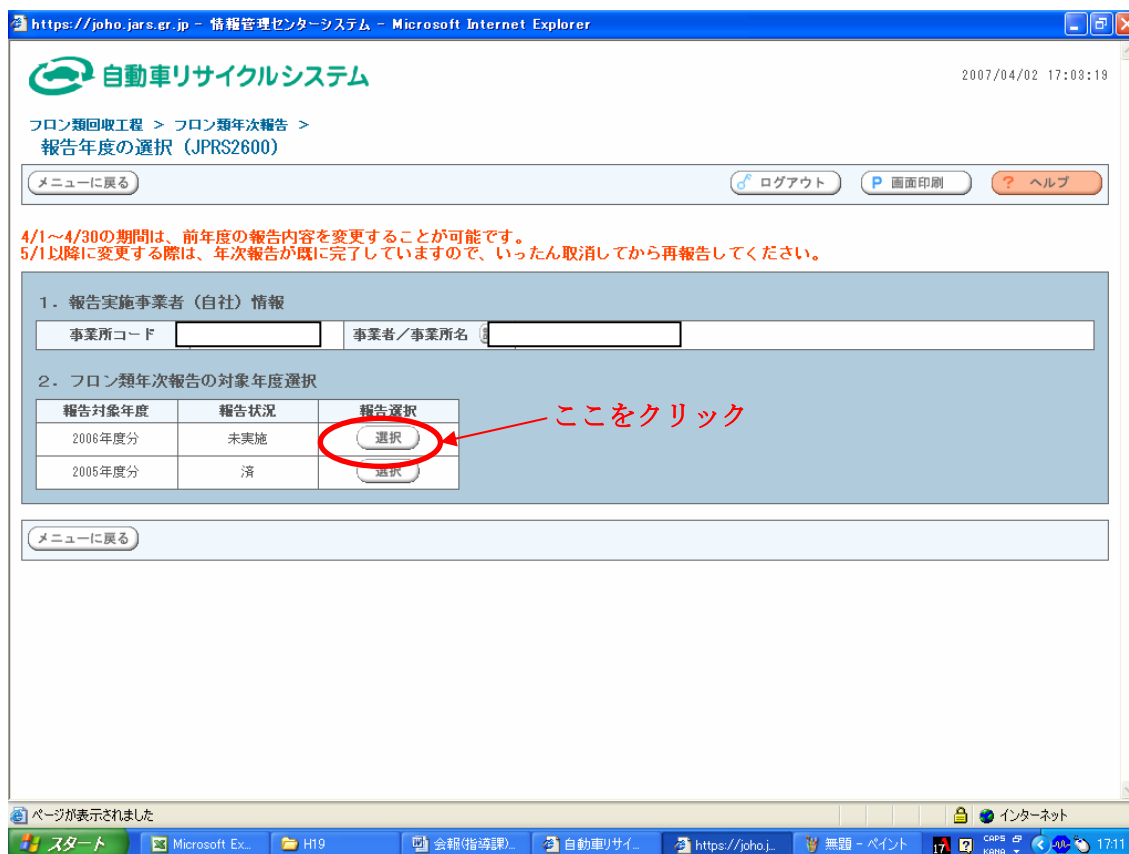
4. 取り扱った車台に関連する情報の閲覧

4.1	<input type="button" value="車台情報の閲覧"/>	引渡報告未実施車台の閲覧
4.2	<input type="button" value="車台情報の閲覧"/>	使用済自動車に関する移動報告状況の閲覧
4.3	<input type="button" value="荷姿情報の閲覧"/>	フロン類引渡報告後の移動報告状況の閲覧
4.4	<input type="button" value="荷姿情報の閲覧"/>	フロン類回収連絡後の移動報告状況の閲覧

5. その他

ページが表示されました

スタート Microsoft Excel H19 会報指導課H19 自動車リサイクル https://joho.jars.g... CAPS KANA インターネット 17:10



中小企業組合まつりに参加しました

第13回目となる中小企業組合まつりが、開催されました。展示・販売・実演・体験などを通して、多様で活力にあふれる中小企業の事業活動を、広く県民にアピールすることを目的に開催されました。

当組合も自動車使用者の保守管理責任意識の高揚と点検整備の必要性を呼び掛け、こども110番事業のPR等を通じて地域社会へ貢献することを目的に、標記まつりに参加しました。

当日は多くの自動車ユーザーが当組合ブースを訪れ、大盛況となりました。

1. 日 時 平成19年3月11日（日）9:00～16:00
2. 場 所 アイメッセ山梨（甲府市大津町）
3. 内 容
 - 1) マイカー日常点検の啓蒙
 - 2) 点検整備の必要性PR
 - 3) こども110番のお店PR
 - 4) こどもぬりえコーナーの設置
 - 5) 似顔絵コーナーの設置
 - 6) エアバックの展開実演
 - 7) その他



大人気のてんけんくん



エアバックの展開実演



本年度も、イベント・まつり等に積極的に参加します。会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。また、是非振興会のお店・ブースに足を運んで下さい。

経営委員会が開催されました

経営委員会が下記により開催され、その概要は次のとおりです。

日 時 平成19年3月6日（火） 17:00
 場 所 振興会 会議室
 出席者 根津委員長 田口副委員長
 新海委員 名取委員 鈴木委員 田村委員
 三浦委員 大村委員 須田委員

会議事項

- 1) 産業廃棄物の適正処理等環境対策について
産業廃棄物処理業者一覧表を作成
- 2) 車検代行業者・未認証事業者に対する対応について
 - ①会員から未認証行為に対する情報を継続して収集する。
 - ②車検代行業者（未認証工場）具体的対応策として、未認証行為対応のルールづくりの構築を行う。
 - ③定期点検整備促進
自動車使用者に対するPRの実施
- 3) 報告事項
経営研修会実施報告

指定協臨時全体会議が開催されました

標記全体会議が次により開催され、その概要は次のとおりです。

- ◇ 日 時 平成19年3月24日（土） 16：00～
- ◇ 場 所 振興会会議室
- ◇ 会議事項
 - （1）指定整備事業協議会の今後のあり方について
 - （2）その他

「点検整備に関する意識と実態」（アンケート調査結果）について

昨年9月～10月に国土交通省と自動車整備推進協議会が主体となって、自動車点検フェスティバル2006（千葉、愛知、京都の3会場）を開催しましたが、当該会場において来場者を対象に標記実態調査を実施しました。

本調査は、点検整備（日常点検と定期点検）に関する意識と実態を明らかにすることを目的として実施したのですが、このたび集計結果が纏まり、下記ホームページにて公表されました。点検整備促進のための参考資料としてご活用して下さい。

国土交通省 自動車点検整備推進協議会のホームページ
<http://www.tenken-seibi.com/index.html>

低圧電気取扱い（ハイブリッド車）特別講習募集

標記講習を下記の要領で行います。

1. 講習日 平成19年4月23日（月）
2. 講習時間 9：00～17：00
3. 講習場所 山梨県自動車整備振興会
4. 受講料 6,300円（テキスト代込み）
5. 受講資格 検査員、整備主任者、二級整備士
6. 申込期間 平成19年4月16日（月）まで
7. 申し込み 巻末の受講申請書に必要事項を記入し、受講料を添えてお申し込み下さい。
8. その他 実習を行いますので、作業着を着用してお越し下さい。

筆記用具とサーキットテストもご持参下さい。

ご不明な点は、振興会教育課にお問い合わせ下さい。

TEL 055-262-4422

第109期 自動車整備技術講習所 受講生募集案内

1 級小型 (A 課程)

受講資格 2 級ガソリン・2 級ジーゼルの両方の技能検定に合格した者で技能検定合格日から自動車の整備作業に関して 3 年以上の実務経験を有する者

1. 募集種目 一級小型 A 課程

2. 募集人員 (募集人員に達しないときは、開講しない場合があります)

種目	募集人員数
一級小型	15 人

3. 受講申込み

①申込期間 4 月 2 日 (月) ~ 4 月 27 日 (金)

②受講申込み

- ・受講希望者は受講申請書 (教育課窓口にあります) に必要事項を記入のうえ、受講料を添えてお申し込み下さい。
- ・2 級ガソリン自動車
- ・2 級ジーゼル自動車整備士合格証をご持参下さい。

4. 講習日程

①開講日 (開講式) 平成 19 年 5 月 15 日 (火)

②講習終了日 平成 20 年 2 月 19 日 (火)

③修了式 平成 20 年 3 月中旬予定

5. 講習時間 9 : 10 ~ 15 : 50 1 日 6 時間

6. 受講料

種 目		受講料	備 記
1 級小型	会 員	87,000	受講料には、テキスト・資料代が含まれます。
	会員外	124,500	

※テキスト代変更により、受講料が変わる場合があります。

7. 各課程の講習日

一級小型（火曜日）

月	講 習 日			
5	1 5	2 2	2 9	
6	5	1 2	1 9	
7	3	1 0	1 7	2 4
8	7	2 1		
9	4	1 1	1 8	
1 0	2	9	1 6	
1 1	6	1 3	2 0	
1 2	4	1 1	1 8	
1	1 5	2 2	2 9	
2	5	1 2	1 9	

※講習日は、変更する場合があります。

8. その他

- （１）本講習は検定試験の実技試験免除の講習です。
- （２）受講者は、白色作業着を着用して頂きます。
- （３）サーキットテスタをご用意して下さい。（ポケット型は不可）

☆デジタルテスタ（温度センサ付）

☆アナログテスター

- （４）山梨県自動車整備商工組合で下記の物を取り扱っています。

☆ 白色作業着（S～3L） 3, 0 4 5 円

☆ デジタルテスタ（温度センサ付） 1 2, 0 0 0 円

☆ アナログ（針式）テスタ 6, 0 0 0 円

- （５）お問い合わせ先 （社）山梨県自動車整備振興会 教育課

TEL 0 5 5 - 2 6 2 - 4 4 2 2

FAX 0 5 5 - 2 6 3 - 4 4 2 0

AMSホームページもご覧下さい <http://www.ams.or.jp>

第109期 自動車整備技術講習所 受講生募集案内

2級ガソリン自動車整備士

受講資格 (実務経験は修了日までとします)

3級の技能検定に合格した者で技能検定合格の日から

自動車の整備作業に関して3年以上の実務経験を有する者

(大学機械科卒1.5年、高校機械科卒2.0年)

1. 募集種目 二級ガソリン

2. 募集人員 (募集人員に達しないときは、開講しない場合があります)

種目	募集人員数
二級ガソリン	25人

3. 受講申込み

①申込期間 4月2日(月)～4月27日(金)

②受講申込み ・受講希望者は受講申請書(教育課窓口にあります)に必要な事項を記入のうえ、受講料を添えてお申し込み下さい。
・3級自動車整備士合格証をご持参下さい。

4. 講習日程

①開講日(開講式) 平成19年5月15日(火)

②講習終了日 平成19年8月23日(木)

③修了式 平成19年9月13日(木)

5. 講習時間 9:10～15:50 1日6時限

6. 受講料

種目		受講料	備記
二級ガソリン	会 員	57,000	受講料には、テキスト・資料代が含まれます。
	会員外	82,000	

※テキスト代変更により、受講料が変わる場合があります。

7. 各課程の講習日 二級ガソリン (火曜日・木曜日・土曜日)

※

月	講 習 日					
5	15 (火)	19 (土)	24 (木)	29 (火)		
6	2 (土)	7 (木)	14 (木)	16 (土)	21 (木)	28 (木)
7	5 (木)	12 (木)	14 (土)	19 (木)	26 (木)	
8	2 (木)	9 (木)	14 (火)	18 (土)	23 (木)	

講

講習日は、変更する場合があります。

8. その他

- (1) 本講習は検定試験の実技試験免除の講習です。
- (2) 受講者は、白色作業着を着用して頂きます。
- (3) サーキットテスタをご用意して下さい。(ポケット型は不可)

☆ デジタル(数字式)テスタ

- (4) 山梨県自動車整備商工組合で下記の物を取り扱っています。

☆ 白色作業着 (S～3L) 3,045円

☆ デジタルテスタ 7,000円

- (5) お問い合わせ先 (社) 山梨県自動車整備振興会 教育課

TEL 055-262-4422

FAX 055-263-4420

AMSホームページもご覧下さい <http://www.ams.or.jp>

第109期 自動車整備技術講習所 受講生募集案内

3級ガソリン自動車整備士

受講資格 (実務経験は講習修了日までとします)

自動車の整備作業に関して1年以上の実務経験を有する者

(大学機械科卒0.5年 高校機械科卒0.5年)

1. 募集種目 三級ガソリン

2. 募集人員 (募集人員に達しないときは、開講しない場合があります)

種目	募集人員数
三級ガソリン	25人

3. 受講申込み

①申込期間 4月2日(月)～4月27日(金)

②受講申込み 受講希望者は受講申請書(教育課窓口にあります)に必要な事項を記入のうえ、受講料を添えてお申し込み下さい。

4. 講習日程

①開講日(開講式) 平成19年 5月15日(火)

②講習終了日 平成19年 8月28日(火)

③修了式 平成19年 9月13日(木)

5. 講習時間 9:10～15:50 1日6時限

6. 受講料

種 目		受講料	備 記
三級ガソリン	会 員	57,000	受講料には、テキスト・資料代が含まれます。
	会員外	82,000	

※テキスト代変更により、受講料が変わる場合があります。

7. 各課程の講習日 三級ガソリン（火曜日・土曜日）

月	講 習 日					
5	1 5（火）	1 9（土）	2 2（火）	2 9（火）		
6	2（土）	5（火）	1 2（火）	1 6（土）	1 9（火）	2 6（火）
7	3（火）	1 0（火）	1 4（土）	1 7（火）	2 4（火）	
8	7（火）	1 4（火）	1 8（土）	2 1（火）	2 8（火）	

※講習日は、変更する場合があります。

8. その他

- （1）本講習は検定試験の実技試験免除の講習です。
- （2）受講者は、白色作業着を着用して頂きます。
- （3）サーキットテスタをご用意して下さい。（ポケット型は不可）
 - ☆ アナログ（針式）テスタ
- （4）山梨県自動車整備商工組合で下記の物を取り扱っています。
 - ☆ 白色作業着（S～3L） 3, 045円
 - ☆ アナログ（針式）テスタ 6, 000円
- （5）お問い合わせ先 （社）山梨県自動車整備振興会 教育課
 - TEL 055-262-4422
 - FAX 055-263-4420

AMSホームページもご覧下さい <http://www.ams.or.jp>

平成１９年度第１回自動車検査員教習が実施されます

自動車検査員資格を取得する為の教習が下記により実施されますので、お知らせします。

- １．受付期間 平成１９年５月１４日（月）～５月１８日（金）まで
- ２．教習日程 平成１９年７月初旬予定
- ３．試問日 平成１９年７月１０日（火）
- ４．教習受講の資格
 教習受講の資格は、「指定自動車整備事業業務取扱要領」第１１条に定める者（教習開始日の前日において、整備主任者として１年以上の実務経験を有する者）であって、次の各号の一に該当する者。
 （１）指定自動車整備事業の指定を受けている事業場に従事している者
 （２）指定自動車整備事業の指定を受けようとしている事業場に従事している者
 （３）上記（１）及び（２）に勤務を予定している者
 なお、直近の整備主任者（法令）研修を受講していること。
- ５．教習会場 整備振興会内
- ６．申請方法 教習受講申請書等は、教育課窓口を用意します。
 （詳細については、別途お知らせします）

第１０８期技術講習所修了状況について

第１０８期技術講習所は、平成１８年１０月１７日開講、平成１９年２月２０日に閉講しました。その種目別の修了状況は、次のとおりです。

種目	受講者	中止者	修了者
二級ガソリン	１８	０	１８
三級ガソリン	１３	１	１２
合計	３１	１	３０

平成１９年度「自動車整備士 技能検定試験 技能登録試験」について

標記の件について、下記の表のとおり実施されます。（**J A S P A P 19参照**）

第１回	
《検定試験》	《登録試験》
二級ガソリン自動車 三級自動車シャシ	二級ガソリン自動車 二級ジーゼル自動車 二級２輪自動車 三級自動車シャシ

	三級自動車ガソリン・エンジン 三級自動車ジーゼル・エンジン 自動車車体
受付期間 平成19年5月7日(月)～ 平成19年5月18日(金)	受付期間 平成19年8月6日(月)～ 平成19年8月10日(金)
学科試験日 平成19年7月23日(月)	学科試験日 平成19年10月7日(日)
実技試験日 平成19年8月22日(水)	

第2回	
《検定試験》	《登録試験》
一級小型自動車	一級小型自動車 二級ガソリン自動車 二級ジーゼル自動車 二級シャシ自動車 三級自動車シャシ 三級自動車ガソリン・エンジン 三級自動車ジーゼル・エンジン 三級2輪自動車 自動車電気装置 自動車車体
受付期間 平成19年10月1日(月)～ 平成19年10月12日(金)	受付期間 平成20年1月21日(月)～ 平成20年1月25日(金) ただし1級口述のみの申請は1.29まで
筆記試験日 平成19年11月29日(木)	筆記試験日 平成20年3月23日(日)
口述試験日 平成20年1月13日(日)	口述試験日 平成20年5月11日(日)
実技試験日 平成20年2月24日(日)	

平成18年度第2回自動車整備士技能登録試験

標記登録試験が、3月25日(日)振興会研修センターにおいて実施されました。受験者数は、次のとおりでした。

種目	受験者	種目	受験者
一級小型	22	三級ガソリン	63
二級ガソリン	92	車体	5
三級ジーゼル	67	合計	250
三級シャシ	1		

平成18年度第2回自動車検査員教習試験

標記自動車検査員教習試験が2月13日(火)に実施され、その結果は次のとおりです。

申請者数	受験者数	合格者数	合格率(%)
48	46	33	71.73